

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 27年1月 第54号

2015年 新年明けましておめでとうございます

会長 菊池 利哉

新年明けましておめでとうございます。旧年中は理事・職員一同大変お世話になりました。ありがとうございました。

本年も更なる努力で皆様に喜んで頂ける・愛して頂ける光陽福祉会を目指します。

光陽福祉会2015 目指すのは「意外性」

意外性とは

- 1 子どもたちが飽きない活動
- 2 子どもたちに驚きと発見がある活動
- 3 子どもたちが新たな自分に出会える活動
- 4 福祉の固定概念に収まらない活動
- 5 我慢の大切さを知ることの出来る活動

光陽福祉会の今年

1 宿泊研修事業の新設

昨年の保護者会でショートステイのニーズの高さを痛感しましたが、残念ながらショートステイを新設で建てることは現段階では困難。そこで、宿泊研修事業を保護者会と共に立ち上げたいと考えています。光陽にしか出来ない。光陽だから出来る事業にご期待ください。

2 医療相談事業の具現化

竹内顧問ドクターとの医療相談をより具現化し、年金申請等その他のサービスがスムーズに受けられる新たな取り組みを始めます。

3 コンサルティング事業

光陽福祉会のシステムを福祉事業所の無い地域に提供していきます。必要なサービスを地域で本年は揖斐郡から始まります。遅れた福祉を取り戻す。曲がった福祉制度を真っ直ぐに・・・固定概念福祉の打破を地域へ

本年も、光陽福祉会は「意外性」をもって懸命に歩んで参りますので、どうぞよろしくお願ひします。

きっずサポートはぐくみ

それぞれの道(歩み)に向けて～

大島 由美子

新年あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。

12月のすがた

(おいしかったねパンケーキ)



シールがくっつくの
楽しいね♪



サンタさんやさしそうな
お顔だね



絵本
「しろくまちゃんの
ほっとけーき」
と一緒に♡



やほい! ごはん中なの
にバックにあの歌が…
「あいの～まの～」♪

遊びの時間(*~*)



さあ2015年(平成27年)が始まりました。
新年を迎え、正月を終えたばかりのこの時期ですが、年度でいうと年度末に近づく時期・新年度が近づいてくる時期であります。

それぞれに訪れる「4月」という環境の変化。

年齢も、今現在の環境も、これから迎える環境の変化も異なるはぐくみメンバー。

今後も今と同じ状況が継続となる子もいれば、進級、そして入園、入学という大きな変化を迎える子もいます。

私達大人は先の変化(進路)をなんとなくイメージして迎え入れる事ができるけれど、小さな子ども達にとって「環境の変化」とは、突然!唐突に!訪れる「なに?」「どーしたらいいの?」といった様な訳の分からない感覚なのかなと思います。

そのような突然の変化を迎え入れる子ども達に対して私達は何ができるわけでもありません。

でも、これから一人一人の子に“環境の変化”が訪れる…という事を感じながら、この3カ月、どのような関わり方・どのようなはたらき掛けが必要なのかを改めて見つめ直し、向き合っていきたいなと思います。

決して子ども達にとっての負担が軽減されるわけではないだろうけど私達周りの大人が“焦らない”事に気をつけて、少しずつ準備をする事はしてもいいのではと思っています。

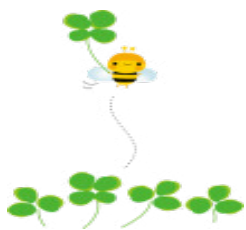
「なってみないとわからない」「やってみないとわからない」

・・・目の前の事に向き合っている!一生懸命!なのが子ども達です。

毎日をその日その日を感じながら生きています。

そのような子ども達と一緒に一日一日を大切に過ごしていきたいなと思います。

(今年の抱負です(^o^))



サポートセンターつぼみ



ホットケーキ作り

後藤 成実



新年あけましておめでとうございます。

7月より指導員となりました後藤です。子供たちの笑顔に支えられながら頑張っています。まだまだ初心者マークをつけての毎日ではありますが、子供達と共に学び、そして成長していけたらと思います。

さて、小学部の調理ではホットケーキ作りを何度か行ってきました。子供たちには難しい作業も多々あります。今回はそんな難しさに格闘する子供たちの様子を紹介します。

【卵を割る】

最初はなかなか上手く割ることができない子もいました。しかし、2回目からは机にコンコンと丁度いい力加減で叩き、ヒビの入った所から上手く割ることができるように！！そんな時の喜びは子供自身ももちろんですが、職員もうれしくて『わー！上手に割れたね！』とパチパチ拍手です。すると、周りの子供たちも一緒にパチパチ拍手。

【混ぜる】

簡単なようですが、なかなか難しいものです。片手のボールが動かないように持って、全体を見ながらもう片方の手で混ぜていかななくてはなりません。そして、熱いホットプレートに気をつけながら生地を置いていきます。



『ん～、上手く置けないよ。変なふうになっちゃった。』なんて声も聞こえてきます。そろそろどうかな？焼けてきたかな？と、フライ返しを使って生地をめくって見てみます。『まだまだかな。もうちょっと焼くよ。』と慎重に焼く子もいます。よし！そろそろひっくり返すぞ！ホットプレートと生地の上にフライ返しを入れようとはしますが、なかなかうまくいきません。

『んー！んー！・・・あ！！取れた！』熱い鉄板から生地がはがれ、フライ返しで生地を持ち上げひっくり返します。上手にひっくり返せることもあれば、隣の生地の上に半分位乗ってしまったりと悪戦苦闘です。

どうかな？そろそろ焼けたかな？自分でお皿を持って焼けたホットケーキを乗せます。あったかほかほかホットケーキ。とってもいい匂いがします。

頑張って自分で焼いたホットケーキはとっても美味しいようで、どの子も喜んで食べています。『どれを持って帰る？』と聞くと、どの子も綺麗に焼けたホットケーキを持ち帰ると言います。こんなに上手に焼けたんだよってお家でお話したいのかな？(#^.^#)

第2光陽

笑顔に会いたくて

野口 竜二

新年あけましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

早いもので、私が指導員になり1年が経とうとしています。勤務初日、不安でいっぱいの私を救ってくれたのは子どもたちの笑顔でした。

初対面の私にたくさんの子どもたちが「はじめまして」「こんにちは!」「ただいま」「名前はなんていうの?」と笑顔で話しかけてくれました。

その笑顔で私の不安な気持ちは一気に消えた気がしました。

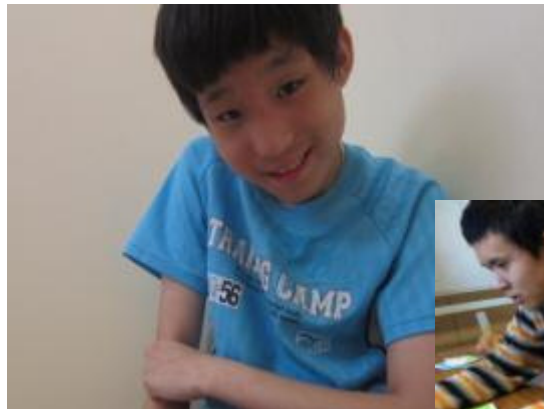


私は、笑顔にはその人自身だけではなく、まわりの人をも巻き込んで幸せな気分にしてくれる・・・そんな力があると信じています。

2014年も光陽福祉会で多くの笑顔に会うことができました。

友達と楽しそうに遊んだり、制作が終わり自分で作った作品を嬉しそうに見つめたり、調理実習でできたものをおいしそうに食べたり、外出でいろいろなことを経験する喜びなど、本当にたくさんの笑顔に出会うことができました。

2015年も多くの笑顔に会えるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



今年も光陽福祉会が多くの笑顔で溢れますように・・・

第2サポートセンターつぼみ



12月からの新たな試み

伊藤 順子

新年明けましておめでとうございます。
寒さもいっそう厳しくなってきましたが、お身体には十分気を付けて下さいね…。

さて、第2サポートセンターつぼみでは、今年の12月から新しく始めた事が2つあります。

1. *お小遣い帳をつけよう*

療育の中で、支払い訓練があります。小学部では、つぼみでお菓子を何種類か用意しており、その中から自分の予算を考えながら買い物を行います。小学校高学年の児童は店員役に挑戦をし、電卓での計算や、商品の袋詰め作業、接客の練習も目的として取り組んでいます。

高等部では、実地訓練としてピアゴにその日に自分で食べるおやつを買いに行きます。予算としては保護者の方から毎月1度300円をお小遣いとして用意して頂き、月に2回程度のペースで買い物に出かけています。買い物の後には、その300円をいつ、どこで、何に、いくら使ったかの、お小遣い帳に記入しています。

予算内での買い物の仕方と、いくら残っているかを把握し残りを貯金(貯金箱に入れる)して、自分で管理ができるようになることを目的としています。

先日行った高等部のピアゴでの買い物の様子では、職員に確認しながら、ほとんどの子がお菓子の値段を計算しながら選ぶ事ができていました。レジで支払いを済ませると「良い買い物できました!!」と職員に満足気に話す子もいました。

自分で選んだ物をレジへ持って行きお金を払う満足感、達成感と共に、自分でお金を管理するという責任感も感じる事ができればと思います。

2. *学習支援・学びの時間*

子供達が来所する時間は様々ですが、利用者全員が揃い療育が始まるまでの時間を利用して、机に向かい集中する時間を設けています。この時間に学校の宿題や、百マス計算、漢字の練習といった学習の支援や、定規の引き方の練習やぬり絵、箸の使い方の練習などを行い指先の巧緻性の向上を目指して取り組んでいます。

子供達が日常生活の中で戸惑っているところなどを知り、何が必要なのかを考えて支援して行く中で手立てを一緒に考えていきたいと思っています。

